

フォートリに慰安婦碑

区議会が全会一致で設置可決

NJ州



ニュージャージー州パージー郡のフォートリ区議会は12月14日、旧日本軍の慰安婦碑の設置を全会一致で決めた。慰安婦碑は現在、全米で10個ほどあるが、同州では5例目となる。場所は決まっていなかったが、公有地に建てられる予定。デザインは決定しており、設置運動を始めた地元の高橋生らによる碑文が刻まれるが、日本への言及はないという。

フォートリの慰安婦碑建設は2013年にも市議会に提出されたが、韓国系住民らの間でデザインや銘文内容めぐり一致がなされなかった。昨年、韓国系を中心とする高校生らが作るフォートリ青少年協議会

住民らの間でデザインや銘文内容めぐり一致がなされなかった。昨年、韓国系を中心とする高校生らが作るフォートリ青少年協議会(YCF)が設置運動を始めた。今年6月から市議会に協議が開始された。9月7日に開かれた議会ミーティングではフォートリの日本人在住者らが「間違っ

た歴史認識で韓国系住民と日系住民を分断することに「なる」と碑設置に反対の立場を強く表明した。反対運動を中心的に担ってきた「ひまわりJAPAN」(永門洋子代表)が市長や市議会議員に働きかけたり韓国メディアに「慰安婦設置反対の声明文」を提出したり、署名サイト(Change.org)で5922人の慰安婦設置反対の賛同を集めフォートリ区議会に提出した。また、ニューヨーク総領事館の高橋礼一郎総領事もマーク・ソコリツチ市長と面会して説得にあたり、日本でタレント活動をしているカリフォルニア州弁護士ケント・ギルバートさんも市長にメールを送るなどして設置反対

を訴えた。採決前にもフォートリ在住者が反対の意見を述べた。ひまわりJAPANの代表は「頑張つてまいりましたが力及ばず、残念な結果となりました。これからもフォートリ慰安婦碑についてその動向に注視し、皆さまにご報告をさせていただきます」と話している。ひまわりJAPANはニュージャージーおよびニューヨーク在住者で作る日本人会で、日本の「なでしこアクション」(山本優美子代表)の海外協力団体。フォートリ区は人口約3万7000人で韓国系住民は3割を超える。隣接するパリセイズパーク区にも慰安婦碑が設置されている。

た歴史認識で韓国系住民と日系住民を分断することに「なる」と碑設置に反対の立場を強く表明した。反対運動を中心的に担ってきた「ひまわりJAPAN」(永門洋子代表)が市長や市議会議員に働きかけたり韓国メディアに「慰安婦設置反対の声明文」を提出したり、署名サイト(Change.org)で5922人の慰安婦設置反対の賛同を集めフォートリ区議会に提出した。また、ニューヨーク総領事館の高橋礼一郎総領事もマーク・ソコリツチ市長と面会して説得にあたり、日本でタレント活動をしているカリフォルニア州弁護士ケント・ギルバートさんも市長にメールを送るなどして設置反対

によると当時は「女性接客者」と呼ばれていたし、「慰安所」も「リラクゼーション・ハウス」と記載されていたらしい。そのような状況下で現在の価値観に当てはめて「慰安婦」を云々することは間違っている。「お国のため」に進んで慰安婦に応募した日本女性も少なからずいたであろうことを考えると、「今」の感覚で「慰安婦」を論じることがむしろ彼女たちに対する冒瀆になりはしないか。

「プロードウェイ・ミュージカル」(ミス・サイゴン)が1月14日で終わってしまふ。フアン一人としては寂しい限りだ。「ミス・サイゴン」は「ウエストサイド物語」などと並んでミュージカル史上最高傑作の一つと言えらる。ニューヨークに赴任当初ベトナムからの帰還兵たちが続々とニューヨークに帰ってくるのを目の当たりにしていた私としては、この作品には特に生々しい感動を覚える。内容的には歌劇「蝶々夫人」のベトナム版で米兵と田舎から出てきたベトナム女性との悲恋ものだが、後半は「ブイダイ(ベトナム語で「ゴミくず」)をテーマにアメリカ社会に問題提起した形となっておりのが大変印象深い。第二幕の最初の「ブイダイの存在を忘れるな」と高らかに歌う迫力満点の男声合唱を思い出す方も多いのではないだろうか。

米兵とベトナム女性との間で生まれたブイダイは約4万人といわれる。さらに歴史を知るものにとつて「ミス・サイゴン」は当時米軍側として参戦した韓国兵(約32万人)とベトナム女性との間に生まれた「ラ

イダイハン」と呼ばれる混血児の存在を想起させる。その数約3万人(最低でも5000人)という。ブイダイについてはアメリカ政府はその存在を認め、ある程度救済措置が取られているが、ライダイハンについては韓国政府は徹底的に無視を続けている。そしてブイダイと大きく違うのはラ

万人程度だ。もし彼らの言うように40万人からの慰安婦が一日に十数人の兵士を強制的に相手させられているとすれば、日本人兵士は戦場で毎日何人も慰安婦をとつかえひつかえ遊んでいたことになる。冷静に考えればこんなことはいくらもあつた。冷戦時代、中国の慰安婦がそれぞれ20万人いたあゝの血の気の多い韓国・朝

「寄稿」

ドント・ミス・サイゴン

〜人気ミュージカルから慰安婦問題を考える〜

イダイハンの場合、そのほとんどが韓国兵士によって繰り返された性的暴行の結果生まれた混血児という事実が、ベトナム戦争終結後、ハン共産党政権下で「敵国の子」として迫害され、差別されてきたという。ブイダイにしてもライダイハンにしても敵地に侵襲した兵士が現地の婦女子を蹂躪(じゆうりん)した結果の悲劇と言つても良いと思うが、一方で、大東亜戦争中に中国や南方に侵攻し

鮮の男たちが20万人もの自らの妻、娘、恋人たちを無理やり日本兵に連行させていくの指をくわえて見ているのか。これもありえない。ではどこを探しても日本兵との混血児が大量に見当たらない理由は何か。誤解を恐れずに言つて、慰安所が存在し日本軍による慰安婦の管理システムのお陰で、この制度のお陰で日本兵は現地の婦女子を蹂躪したり

意見広告

●海外から歴史問題を考えるシリーズ①

慰安婦像がなぜ米国各地に広がっているのか

1996年、誤った情報に基づいた国連特別報告書が世界に流されて日本は罪を着せられた。

昨年11月22日にサンフランシスコ市長のエド・リー氏が市内の中街に建てられた慰安婦像を含む土地の譲渡を受け入れることを正式に承認した。これによって米国の公共地に立つ慰安婦像は三つになった。第一が2013年7月に建てられたカリフォルニア州グレンデールの慰安婦像であり、第二は、2017年6月に建てられたジョージア州ブルックヘイブンの慰安婦像、第三は、大都市としては今回のサンフランシスコが初めてである。

これらの記念碑はいずれも慰安婦の像が記念碑の中心となっているものであるが、像ではなく、慰安婦の姿を石版に彫った記念碑であれば、それは以前から公共の場に建てられている。最初のものは、2010年10月にニュージャージー州のハリウッド・パークの図書館入り口に建てられている。その碑文には「1930年代から1945年まで日本帝国の軍隊によって連行されて、「慰安婦」となり、誰もが決して忘れるべきでない悪質な人権侵害に耐え抜いた20万人の女性と少女を記念して。人道への犯罪の恐怖を忘れてはいけない等」と記されている。これらの記述は歴史的事実と反する部分があり、反日的色彩が強い。その後2012年にはニューヨーク市郊外のナツソー郡ウエストベリイに建てられ、2013年には、ウエストベリイにも一つと、ニュージャージーのハッケンサックに同様のものが建てられた。更に2014年には、ヴァ

ージニア州フェアファクス郡、ニュージャージー州のユニオンシティに建てられ、それからしばらくは、後述するグレンデール裁判の影響によって、動きが静まっていたが、裁判の最終結果から変わった2017年初頭から、慰安婦像の建設が再開されてきている。今後は更に様々な都市に同じような記念碑が建てられる危険性がある。これらの慰安婦像や像の設立は実は2007年の米国会議の下院でなされた決議121号「日本非難決議」が根拠になっている。その決議を推進したのが実は日系アメリカ人のカリフォルニア州シリコンバレー地区選出のマイク・ホンダ議員(当時)であった。この決議は、1996年に国連の特別報告者のクマラスワミ女史の作成した「慰安婦」に関する報告書を元にしたもので、その内容は「慰安婦は強制的に連行され、性的虐待にさらされ、輪姦、性暴力、墮胎などの極度の苦難を受けた」とされさらに「それは20世紀でも特筆すべき人身売買であった」と結論付けて、日本政府に謝罪を求める極めて厳しい決議であった。ただし、この決議は、下院でなされただけで上院では審議されず、当時のブッシュ大統領もこれを重要なものは、この決議では、慰安婦は「強制的に連行され」、「自由のない性奴隷」であると規定され、日本政府が著しい人権侵害の罪を犯したとされていることである。